

第 26 回福島ダイアログ

福島第一原発の廃炉・廃棄物管理と地域の未来

主催：NPO 法人福島ダイアログ
2024 年 10 月 12 日(土)・13 日(日)

福島第一原発で進められている廃炉作業は、現在日本政府の定めた中長期ロードマップによれば第 2 期「燃料デブリ取り出し開始されるまでの期間」にある。燃料デブリ取り出し作業は難航し、第 2 期は、当初終了予定時期とされていた「事故から 10 年」を 3 年超過している。予定から遅れているとはいえ、デブリ取り出しが開始された後には、第 3 期になる「廃止措置終了までの期間」がはじまる見通しとなっている。廃止措置の終了時期は、事故から 30 年から 40 年後とされているが、現実には、その見通しは明確ではない。

福島第一原発構内には廃炉作業にともなう廃棄物が現在も保管されている。これは、廃炉作業の進捗にともない、今後もその量は増えていくこととなる。今後、廃棄物をどこで処分するかについては、白紙の状態のままである。廃棄物には、ほかに、双葉・大熊両町にまたがる中間貯蔵施設に除染廃棄物も大量に保管されている。後者の除染廃棄物は、2045 年 3 月までに、福島県外で最終処分を行うことが法律で定められており、政府・東電は減容化と再生利用によって処分量を減らすことに努めているが、再生利用と処分地の目処はたっていない。

これまでの福島ダイアログでも、廃炉と廃棄物についてはたびたび話題にのぼってきた。廃炉と廃棄物の行方は大熊・双葉両町のみならず、福島の被災地域全体の将来に大きくかかわる問題であるにもかかわらず、住民が将来の意思決定に十分に関与することができていないことが指摘されてきた。2017 年 3 月に開催した第 16 回福島ダイアログでは、双葉町の中間貯蔵施設地権者の住民のご案内によって、施設建設予定地となったご自宅を訪問し、双葉・大熊両町の地権者の方を交えて、ダイアログを行なった。事故によって自宅が居住不可能になったことに加えて、そこに廃棄物受け入れという二重の負担を引き受けざるをえない状況になったことの不条理について語られた。まだ 2019 年 12 月に開催した第 22 回でも、双葉町の用地内地権者の方に 2017 年以降の状況をお話いただいた。地権者からは、すべての除染廃棄物が施設に運び込まれたあとに、多くの人が廃棄物の問題を忘れ去ってしまうだろう将来への懸念が表明された。直近では、処理水の海洋放出について議論を行った第 23 回ダイアログで、廃炉の意思決定への地域住民の関与の問題が、その難しさを含めて語られた。

廃炉と廃棄物は、これから長期にわたって被災地域が向き合い続けねばならない問題である。第 26 回福島ダイアログでは、どのように地域住民が、これらの問題にかかわることができるのか、どのようにかかわっていききたいのか、海外の先行事例も参考にしながら関係者で共有する場としたい。

後援：浪江町，福島大学地域未来デザインセンター，IRSN，CEPN

協賛：日本保健物理学会，日本リスク学会，早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター

12 日視察（定員満席）

11:30 JR 常磐線大野駅集合

12:00～14:00 中間貯蔵施設内見学（JESCO・双葉町細谷地区大橋庸一さんご案内）

14:00～16:00 大熊町内見学（大熊ふるさと塾渡部正勝さんご案内）

16:30 頃 大野駅解散 降車場所は、参加者の都合に応じて追加可能

13 日ダイアログ

会場：浪江町地域スポーツセンター（秋桜アリーナ）会議室 浪江駅 徒歩 6 分

ZOOM オンライン配信あり：日英同時通訳付き

視聴登録予約 URL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_L0eOj8yFSgCcfNqJkUcABQ



《午前：発表》

10:00-10:10 挨拶（開催趣旨） NPO 福島ダイアログ 10 分

10:10-10:35 除染土壌・廃棄物・中間貯蔵施設地域の現状 保高徹生 産総研 20 分+5 分

10:35-11:00 地元の若者の観点から 遠藤瞭 東北大学工学研究科 20 分+5 分

11:00-11:20 フランスの核廃棄物管理問題 Sébastien Farin（ビデオ）フランス放射性廃棄物管理機関（ANDRA）_20 分

11:20-11:40 カナダの廃棄物管理問題 Faye More（ビデオ）ポートホープ地域健康問題委員

11:40-11:50 全体質疑応答 10 分

11:50-12:00 ポスター紹介 10 分

12:00-13:00 昼食

《午後：ダイアログ》

13:00-13:10 午前の発表への Q&A

13:10-13:20 ルール説明

13:20-15:00 パネル（IDPA ルール） 参加者 10 名

- ・参加者は、ファシリテーターの出す質問に、わりあてられた時間で意見を表明
- ・意見を表明中は、他の人は遮らない。
- ・全員が一巡したあと、他の人の意見を聞いて再度自分の意見を表明

参加者

池上三六さん（原子力損害賠償廃炉支援機構）

今泉友里さん（桜美林大学教育探究科学群 学生）

梅原昭子さん（aruto702 地域伴走型アーティスト）

遠藤佳南子さん（富岡町民）
遠藤瞭さん（東北大学工学研究科 修士生）
門馬好春さん（30年中間貯蔵施設地権者会）
Cheng Diさん（早稲田大学大学院 修士生）
辺見珠美さん（富岡町議）
Fabien Hubertさん（フランス放射性廃棄物管理機関）オンライン
保高徹生さん（産総研）
松枝智之さん（ふたば行政書士事務所）

15:00-15:30 コーヒーブレイク（30分）

15:30-16:00 オブザーバーとの対話

- 一般会場・オンラインの視聴者の発言希望者は、パネリストに提起された話題に関連したコメントを3分以内で発言
- 発言する際は、それを遮らない
- パネリストやオブザーバーから（司会からの要請に応じて）簡潔な応答か修正補足

16:00-16:15 報告者のまとめ（15分） トゥ・ザ・ウィン、ジャック・ロシャール（オンライン）

16:15-16:30 まとめの討議 参加者や一般オブザーバーを含めて討議（10分）

16:30-16:45 司会によるダイアログの閉会（10分）

[帰りの電車の時間] 17:46 いわき駅行 18:17 原ノ町駅行

1週間以内にパネリストおよびダイアログパートに参加したオブザーバーに確認の上、まとめ最終版を作成。作成後、国、自治体、報道（マスコミ）に共有のために送付。

録画された内容は、後日許可を得られたものについて、NPO 福島ダイアログのサイトに掲載。

<http://fukushima-dialogue.jp/>

注意事項

- 12日（土）の視察は、事前申し込みが必要です。
- 13日会場近辺の徒歩圏内に昼食を取れる飲食店やコンビニなどのお店はありません。弁当を手配しますので、必要な方は申し込み下さい **10/3迄** <https://forms.gle/Az6Y4mSuUTArQGD6>
- 集まりへの取材は自由ですが、参加者へ個別取材をご希望の場合は、事前に受付までお申し出ください。

連絡先：info@fukushima-dialogue.jp

今回から、ダイアログの新しい試みとして、福島復興に関するポスター展示を行います。ポスター発表にご興味のある方は、NPO 福島ダイアログまでご連絡ください。